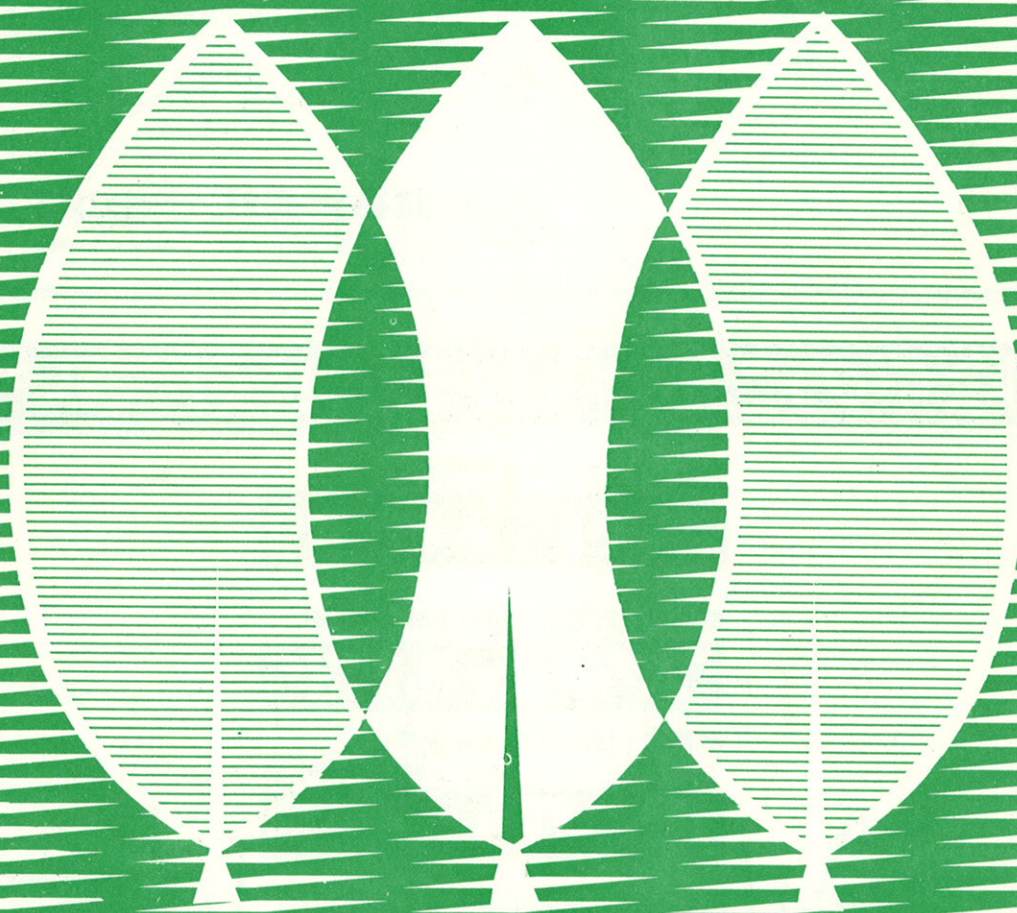


調 植

第4卷第11号



財団法人 日本植物調節剤研究協会編

いつも
良いものをと
願っている
あなたに



■ミカンの摘果剤

ナフサグ®粉末

- 一回の散布で、摘果作業の手間がはぶけるばかりでなく、玉揃いがよくなり品質のよいみかんがとれます。
- 樹に対する悪影響はありません。
- アルカリ性剤以外の殺虫剤、殺菌剤などとの混用散布ができます。



三共株式会社

農薬部 東京都中央区銀座3-10-17
支店営業所 仙台・名古屋・大阪・広島・高松

北海道三共株式会社
九州三共株式会社

資料進呈

除草のことならおまかせください!

安全でよく効く水田用除草剤

ニップ®粒剤

陸稲・水稲(苗代・直播・移植)の除草に

スタム乳剤35

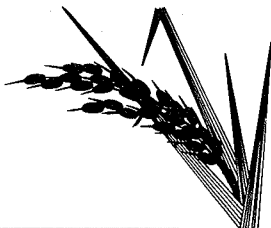
水苗代・稚苗移植、湛水直播に

絶好の除草剤

アタックワイド乳剤

園芸畑作物及び林業苗畑の除草に

ニップ®乳剤



●お求めは
農協・特約店でどうぞ……

総発売元 **三洋貿易株式会社**

〒101 東京都千代田区神錦町2の11

●誌名ご記入の上、総発売元へ
お申越下されば説明書進呈

雑 感

はからずも九州農試へ転勤を命ぜられて、こちらに着任したのは昨秋10月中旬でありました。

転勤に際しまして植調関係者の皆様に大変御厚情をいただいたことに厚く御礼を申し上げる次第でございます。

私事で恐縮ですが転勤は4度目でございます。戦后、混乱期は独身赴任でしたので、行李1つ、フトン袋1つと、いとも簡単でございましたが、回を重ねるに従って、古道具がふえ、今度という今度はどうしても移転作業がうまくゆかず、いまだに黒石原（九農試）の寒空に単身で自炊生活を送っています。お蔭で大分料理が上手になりました。でも味つけはどうしても単味になりがち、二味、三味ともっていくのはとてもむずかしいものだわかりました。時には“味の素”と食塩とを取り違えたりしている次第。どうも、1回の食事でも、三度の食事間にも味を通じて、最近はやり言葉の調和があるようです。この調和は人それぞれによって異なるものでして、客観的には中々判定しがたい調和だと思います。さらに、ずぼら者でもでき、安くて栄養があってなど要求しだしたら。

さて、商売柄この雑草には驚きます。広さと、人手不足のせいもあるでしょうが、草の中に試験圃があるといった感じ。なんとか残留性のない接触剤で、などと知ったかぶった話をしている次第です。生物系による環境の純化などと、どこかでいっているようですが、こゝは純化されすぎております。鳥追いの行事も、虫追いの行事もこちらでは同時に必要のような気がします。

目 次

昭和45年度水稻畑作関係 生育調節剤試験成績概要 農林省農業技術研究所 太 田 保 夫	2
昭和45年度畑作関係除草剤 試験成績概要 (財)日本植物調節剤研究協会	6
新登録除草剤一覧 農林省農政局植物防疫課	16
新登録生育調節剤一覧 農林省農政局植物防疫課	17
新除草・調節剤 ニトラリン除草剤	18

本号は、内容充実をはかるべく意図したのでありますが、取材が伴わず試験結果報告にとどまる次第です。何とぞご了承下さい。

昨今の話題もその発想はよく理解できますが、地域性にはぐくまれたものの見方の差を打ち消すことは、なかなかできないものでしょうね。たゞ、弁の達者な一部の人々によって話題が先き取りされ、これに左右されるような世の中にはしたくないものです。

農林省九州農業試験場
作物第2部長 中 沢 秋 雄

昭和45年度水稲・畑作関係生育調節剤

試験成績概要

農林省農業技術研究所生理遺伝部 太田保夫

昭和45年度夏作試験の成績検討会は、さるにその後約1時間にわたって結果の審査・実用性の可否の判定が行なわれた。
12月17日東京（都市センター）で開催された。午前9時30分より中食をはさんで午後4時までの試験成績の報告と検討が行なわれ、さる今回の供試薬剤は12薬剤で、その中で3薬剤は畑作物、9薬剤が水稲に対するものであつた。

昭和45年度夏作水稲・畑作関係生育調節剤審査判定表

A. 水 稲

薬 剤 名	有効成分および含有率	試 験 目 的	判定	理由あるいは実用化処理法
ETHREL 液剤 (エスレル)	2-クロロエチルフォスフォニック アシッド 48%	分けつ促進効果	継	適用条件について検討
H-7140 水和剤	未公開 40%	分けつ促進効果	継	試験年次不足につき継続
JR-2号	ポリマー+タンニン質	植え痛み防止効果	実	播種前アール当り1Kg土壤表層3~5cmに混和する
PCP 25% 粒剤	ペンタクロロフェノール塩 25%	過繁茂防止効果	実	有効分けつ終止期直後（出穂前40日頃）アール当り成分量で150gを畦間散布し土壤混和する。水質汚濁に留意すること
キタジンP 粒剤	0,0-ジイソプロピル-ベンジルチ オホスフェート 17%	稈長抑制効果	継	試験年次不足につき継続
N-2000 水和剤	核酸関連物質 1.0%	活着促進効果	継	“ “
R N A 粉剤	リボ核酸（RNA）	生育促進効果	継	“ “
U M P 粉剤	5'-ウリジル酸ナトリウム（UMP）	“	継	“ “
C M P 粉剤	5'-シチジル酸ナトリウム（CMP）	“	継	“ “

B. て ん 菜

SCU-7001 水溶剤	新規化合物	含糖量・収量増加	継	試験年次不足につき継続
-----------------	-------	----------	---	-------------

C. 大 豆

TIBA 水溶剤	2,3,5-トリヨードベンゾイックア ジッド 10%	矮化・蔓化・倒伏 防止効果	継	実用性が高いが次代作物に対する影響 につき検討する
----------	-------------------------------	------------------	---	------------------------------

D. 小 豆

TIBA 水溶剤	2,3,5-トリヨードベンゾイックア ジッド 10%	矮化・蔓化・倒伏 防止効果	継	試験年次不足につき継続
----------	-------------------------------	------------------	---	-------------

E. そ の 他

MIC-45	未公開	オーキシン活性	継	試験年次不足につき継続
--------	-----	---------	---	-------------

た。元来、生育調節剤に関する試験は、除草剤試験に比べて効果の判定が難かしい点があり、試験を担当された場所の方々は随分苦勞されている。

この点に関して、審査会で検討した結果、生育調節剤の実用性について、作物の生育過程における諸形質に対して、栽培上有効な調節作用が認められるものに限るが、収量性とは分けて審査することが了承された。たとえば、ある薬剤が水稻の分けつの増加に対して明らかに促進効果を示しても収量は増加する場合もあるが、必ずしも増加しない場合もあるといった事例について、薬剤の効果として、つねに分けつ促進作用があれば、分けつ促進剤としての実用性を認定することになった。したがって、この薬剤が分けつ促進剤として実用化された場合には、当然分けつ促進が栽培上有効な手段となる地域に限って適用されることになる。

この点は、審査会の論議を呼んだところであるが、従来から存在していた生育調節剤＝増収剤というイメージから脱皮して、栽培上有効な生育調節作用があれば必ずしも増収剤でなくても実用認定されることとなった。

A 水 稻

1 ETHREL (エスレル) 液剤 (2.4-D協議会申請) ; 継続

本剤は2-クロロエチルフォスフォニックアシッドの48%液剤で、最近植物生理学の分野で注目されているエチレンを発生する薬剤である。園芸作物ではミカンの着色促進、ナシ・リンゴ・カキの成熟促進、キュウリ・メロンの着果促進などの効果に期待がかけられているようであるが、水稻については、分けつ促進および

倒伏防止を目的として試験され、本年は、農技研・生理第5研究室で作用特性、北海道農試・稲第2研究室で分けつ促進に関する試験が行なわれた。

エスレルの作用特性に関して、イネの幼芽の伸長促進効果は胚乳養分の存否が大きく影響していること、また、イネ苗の伸長抑制効果は苗体の窒素含量と正の相関を示すことがわかった。さらに、エスレル処理幼苗の体内ジベレリン様物質を村上の方法によって測定した結果、エスレルは体内ジベレリン様物質に影響を与えていないことがわかった。

分けつ促進効果に関しては、2葉期の150 ppm 葉面散布が効果的であるが、土壌および気象条件による効果の変動などについて再検討することになった。

2 H-7140 水和剤 (日産化学工業申請) ; 継続

成分未公開の40%水和剤で、分けつ促進効果ありとして試験が委託された。農技研・生理第5研究室、北海道農試・稲第2研究室、九州農試・作物第4研究室で検討が行なわれた。

いずれの成績でも茎数の増加を認め、収量もやや増加している。しかし、効果発現の条件について品種間差異があり、処理方法や時期についても再検討の必要があると認定された。

3 JR-2号 (三菱モンサント化成申請) ; 実用性認定

本剤は、ポリマー+タンニン質で土壤活性化剤として申請され、過去5年間継続試験された。本年は、農事試・作物第6研究室、青森農試・藤坂支場、山梨農試および鹿児島農試でも不良環境下での苗の活着促進について検討された。

農事試では苗の植えいたみ防止効果の他に高水温による不稔発生の軽減効果、倒伏抵抗性の増大効果を認めた。青森農試・藤坂支場および鹿児島農試では、苗質の向上を認めたが、本田における生育収量に対する影響は明らかでなかった。山梨農試では健苗育成に効果があり、移植期の不良気象の条件では収量的にも効果を認めた。

以上の結果、本剤は植え痛み防止剤として実用性を認定し、適用条件は移植期に冷水がかかったり、日照不足、旱魃、強風の吹くなどの不良環境地帯、処理方法は、播種前 a 当たり 1 Kg 土壌表層約 3 ～ 5 cm に混和することとした。

4 PCP 25%粒剤 (PCP協議会申請) ; 実用性認定

本剤はペンタクロロフェノール Na 塩 25% の粒剤で、千葉県農試で昭和 41 年分けつ抑制・倒伏防止効果が認められてから申請されたものである。本年は山形・石川・福井・福島・千葉および愛知県農試で試験された。

前年度の試験成績と本年度の結果を総合的に判断すると、本剤は水稻の生育を一時的に抑制する作用があり、有効分けつ終止期直後に土壌処理すると無効分けつの抑制および下位節間の伸長を抑制し間接的に倒伏防止効果が認められる。しかし、倒伏予察技術が充分確立されていない現状では、本剤に適確な倒伏防止効果を期待することは無理があり、処理量によっては生育抑制による減収のおそれがある。

したがって、検討会では本剤は過繁茂防止剤として実用性を認定し、過繁茂のおそれがあるとき有効分けつ終止期直後(出穂前約 40 日頃) a 当たり成分量で 150 g を畦間に散布し、土壌混和することとした。なお、本剤は水質汚濁

防止上十分な注意が必要である。

5 キタジン P 粒剤 (クミアイ化学工業申請) ; 継続

本剤は 0,0 - ジイソプロピルーベンジルチオホスフェートの 17% 粒剤で、水面散布によるイモチ病防除薬剤であるが、稈長抑制効果があるとして試験が申請された。

本年は、農技研・生理第 5 研究室、農事試・作物第 6 研究室、九州農試・作物第 4 研究室、宮城・新潟・富山および兵庫県農試で試験された。

いずれの試験成績もその程度には差異がみられたが、稈長抑制効果が認められた。しかし、稈長抑制の作用機構は明らかでなく、処理時期による影響も一定していなかった。この点については、さらに検討を要するが、稈壁が厚くなる、分けつが増加する、止葉が直立して硅化細胞がやや増加する、有効茎歩合が高まる、萎縮病罹病率が低下するなどの作用が観察された。

本剤の稈長抑制機構をさらに検討し、適用条件を明らかにするため継続試験することになったが、試験担当機関から相当に期待がかけられている。

6 N-2000 水和剤 (日研化学申請) ; 継続

本剤は、核酸関連物質の 1% 水和剤で、活着促進効果があると試験が申請された。

農技研・生理第 5 研究室では本剤の 5 ～ 10 ppm 液は水稻苗の発根促進効果を認めた。

初年度であり、さらに、圃場条件での効果について継続検討することとなった。

7 RNA(リボ核酸)粒剤 (核酸肥料研究会申請)

8 UMP粉剤（核酸肥料研究会申請）

9 CMP粉剤（核酸肥料研究会申請）

RNA粉剤は、リボ核酸、UMP粉剤は5-ウリジル酸ナトリウム、CMP粉剤は5-シチジル酸ナトリウムで核酸およびその関連物質で、生育促進効果についての検討を申請された。

試験は農技研・生理第5研究室、農事試・作物第6研究室、東北農試・農技部、九州農試・作物第4研究室で行なわれた。

農技研の結果では、RNA粉剤多量区で苗の発根力や葉身切片の葉緑素分解阻止作用が認められ、農試事では、直播栽培で灌漑開始時に土壌混入施用すると増収し、3薬剤中ではUMPが勝った。この傾向は、東北農試の稚苗移植栽培における処理試験でも同様であった。

九州農試では、低・高温条件で薬剤の効果を検討し、生育量・葉色・発根力に効果があることが認められたが、効果の発想条件について再検討が必要であるとした。したがって、本剤については、さらに作用性について実用化と結びつけるための研究が必要である。

B てん菜

1 SCU-7001水溶剤（北海三共株式会社申請）；継続

本剤は、成分未公開の水溶剤で、てん菜の含糖量・収量増加が試験申請の目的で、北海道農試・特作第1研究室、てん菜研究室、中央・上川・北見・十勝農試で試験された。

成績結果は、収量はやや増加した例がみられ、含糖量はやや低下する傾向を示した。初年目であり、さらに検討することとなった。

C 大豆

1 TIBA水溶剤（クミアイ化学工業株式会社申請）；継続

本剤は、2・3・5-トリオードベンゾイックアシドの10%水溶剤である。大豆の矮化、開花促進、倒伏防止増収効果があるとして昭和44年度より試験が申請された。

本年は、北海道・畑作第1研究室、北見・岩手・および山形農試で検討された。

北海道農試では、多肥密植条件でTIBAの栄養生長抑制効果および収量について検討した。その結果、群落の光利用効率の向上、倒伏防止など有利な効果が期待できるとしている。

他の場所の試験成績も着莢数の増加による増収、発熱日数の短縮、蔓化倒伏防止効果が認められた。しかし、100粒重が減少する傾向がある。

本剤は、検討会で矮化、蔓化倒伏防止剤として過繁茂が予想される場合、開花5日前頃の50ppm葉面散布が効果的であり、その実用性が認定されたが、次代作物についての影響などについて検討する必要ありとして継続することとした。

D 小豆

1 TJBA水溶剤（クミアイ化学工業株式会社申請）；継続

本剤は、前記大豆に対する薬剤と同一で、同様な効果について検討することが申請されている。

試験は、北海道・畑作第1研究室、北見・岩手農試で行なわれた。

小豆の場合も節間を短縮し、蔓化倒伏防止効果を認めている。しかし、大豆と異なり莢数が減少し収量が低下する傾向がある。一方1000

粒重は増加し、品質向上の可能性を含んでいる。

以上の結果、さらに、適用条件について検討することとなった。

E その他

1 MIC-45 (石原産業株式会社申請)
; 継続

本剤は、成分未公開でオーキシン作用につい

て検討することが申請された。

農技研・生理第5研究室でラミナジョイントテスト、イネの幼芽伸長テスト、イネ苗の発根力テストが行なわれた。その結果、ラミナジョイントテストでは原液の100倍液でNAA 0.1 ppm以上の効果がみられた。幼芽の伸長および発根力については効果が少なく、さらに純度を高めて作用性を検討することとなった。

昭和45年度畑作関係除草剤 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和45年度畑作用除草剤の試験成績検討会が、昭和45年12月15日、16日の2日間、東京において開発されたので、ここにその結果の概要について紹介する。

昭和45年度に供試された畑作用除草剤の種類を作物別にみると、第2表の通りであるが、これを試験年次別にその供試薬剤数の変動の推移をみると、第1表の通りとなる。

次に、試験結果の概要を判定基準によってみると、第3表の通りである。実用化に移されたものは26薬剤、マルチ用5薬剤、実用化とともにさらに1部を継続に移されたものは9薬剤、マルチ用3薬剤である。

これら実用化薬剤の使用基準は、第4表に示した通りである。

<第1表> 畑作用除草剤試験の推移

	供 試 薬 剤 数					
	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
A 除 草 剤						
畑 作 物 一 般	12	12	6	9	7	11
陸 稲	12	14	10	11	9	9
麦 類	4	4	2	4	4	2
とうもろこし	7	4	3	4	6	8
甘 藷	4	9	3	5	4	5
馬 鈴 薯	0	1	0	3	4	8
さとうきび	2	1	1	0	0	1

	供 試 薬 剤 数					
	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
大豆	11	10	3	4	14	8
小豆	2	4	3	1	7	5
菜豆	1	1	3	5	6	8
落花生	6	5	7	4	12	9
てんさい	4	4	9	5	6	6
その他	1	2	3	1	3	1
B マルチ除草剤						
稲	—	—	—	12	4	5
早堀甘藷	—	—	—	—	1	2
とうもろこし	—	—	—	1	2	2
落花生	—	—	—	—	1	2
その他	—	—	—	1	2	6
合 計	66	71	53	63	92	98

<第2表> 昭和45年度畑作関係除草剤供試薬剤一覧表

A. 除 草 剤

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名及び成分含有率	委 託 者 名
1) 畑 作 一 般	MT-206	乳 剤	2,6,4-トリクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル 15% 3-クロル-4-フルオロ-4'-ニトロジフェニルエーテル 5%	三井東圧化学
	MT-207	乳 剤	2,4ジクロル-6-フルオロ-4'-ニトロジフェニルエーテル 10% 3クロル-4-フルオロ-4'-ニトロジフェニルエーテル 10%	三井東圧化学
	X-52	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	石原産業
	Z-43	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	石原産業
	SW-7003	水和剤	尿 素 系 80%	三 共
	SW-7004	水和剤	未 公 開 80%	三 共
	SW-7005	水和剤	未 公 開 50%	三 共
	H-2901	乳 剤	新規有機化合物 40%	北 興 化 学
	H-41L	乳 剤	αN-エチル-2(フェニルカーバモイロキシ)プロピオンアミド 20%	協和醸酵工業
	B-3356	乳 剤	カーバメイト系化合物 50%	クミアイ化学工業
	バーナレート(バーナム)	粒 剤	n-プロピル-N,N-ジプロピルチオカーバメイト 5%	チラム・バーナム普及会
2) 陸 稲	DC-55	乳 剤	4-ターシャリブチル-2,6-ジメチル-3,5-ジニトロアセトフェノン 20%	大日本インキ化学
	SD-11831	水和剤	4-(メチルスルフォニル)-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピルアニリン 50%	シエル化学 サンケイ化学

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名及び成分含有率	委 託 者 名
2) 陸 稲 (つづき)	ブタクロール	乳 剤	2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 48%	三菱モンサント化成
	B-3015 プロメトリン	乳 剤	B-3015+プロメトリン 50+5%	クミアイ化学 日本化学薬
	NC-301	水和剤	PCP+リニユロン 73+5%	日本カーバイト
	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)-カーバメイト 15%	スエップ普及会 (日産,日農,北興)
	D C P A	水和剤	3,4-ジクロルプロピオンアニリド 50%	保土谷化学
	X-52	水和剤	2,4-ジクロル-3'-メトキシ-4'-ニトロジフェニルエーテル 40%	石原産業
	Z-43	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	石原産業
3) 麦 類	NP-13 (春播小麦)	乳 剤	ジフェニルエーテル系 25%	日本曹達
	C M P T (秋播小麦)	水和剤	5-クロル-4-メチル-2-プロピオンアミド チアゾール 50%	三井東圧化学
4) とうもろこし	CP-23	乳 剤	2-クロル-N-(イソブトキシメチル)-2', 6'-アセトキシリダイド 60%	三菱モンサント化成
	バーナレート	粒 剤	n-プロピル-N, N-ジプロピルチオカーバメイト 5%	チラム・バーナム 普及会
	NC-301	水和剤	PCP+リニユロン 73+5%	日本カーバメイト
	S-6115	乳 剤	2-クロル-4-シクロプロピルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン 12.8%	東陽通商
	アラクロール (CP-50144)	乳 剤	2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)-アセトアニリド 43%	三菱モンサント化成
	アイオキシニル	乳 剤	3,5-ジ-4'-ヒドロキシベンゾニトリル 30%	塩野義製薬
	ラトラジン	水和剤	2-クロル-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 47.5%	日本化学
	サイプロミッド	乳 剤	3,4-ジクロルシクロプロパンカルボキシアニリド 20%	東洋通商
5) 甘 藷	SD-11831	水和剤	4-(メチルスルフェニル)-2,6-ジニトロ-N, N-ジプロピルアニリン 50%	シエル化学 サンケイ化学
	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバメイト 15%	スエップ普及会 (日産,日農,北興)
	KH-166	微粒剤	2,4-ジニトロ-6-ターシャリブチルフェニルメタンスルフォネート 7%	兼 商
	X-52	水和剤	2,4-ジクロル-3'-メトキシ-4'-ニトロジフェニルエーテル 40%	石原産業
	Z-43	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	石原産業
6) 馬 鈴 薯	バーナレート	粒 剤	n-プロピル-N, N-ジプロピルチオカーバメイト 5%	チラム・バーナム 普及会
	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバメイト 15%	スエップ普及会 (日産,日農,北興)

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名及び成分含有率	委 託 者 名
6) 馬 鈴 薯 (つづき)	HSW-7001	乳 剤	DNBPA Cℓ-IPC 40% 20%	北 海 三 共
	H-337	水和剤	PCP リニュロン 73% 5%	丸 和 物 産
	NC-301	水和剤	PCP リニュロン 73% 5%	日 本 カ ー バ イ ト
	P C P	水溶剤	PCP 86%	P C P 協 議 会
	アイオキシニル	乳 剤	3,5-ジロード-4-ヒドロキシベンゾニトリル 30%	塩 野 義 製 薬
	ア メ ト リ ン	乳 剤	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-イソブ ロピルアミノ-S-トリアジン 25%	日 本 化 薬
7) て ん 菜	レ ナ シ ル (直 播)	水和剤	3-シクロヘキシル-5,6-トリメチレンウラシ ル 80%	デ ュ ボ ン フ ァ ー イ ス ト
	レ ナ シ ル (移 植)	水和剤	同 上	同 上
	C P - 2 3 (直 播)	乳 剤	2-クロル-N-(イソプロキシメチル)-2', 6'-アセトキシリダイド 60%	三 菱 モ ン サ ン ト 化 成
	C P - 2 3 (移 植)	剤 乳	同 上	同 上
	HSW-6901 (直 播)	水和剤	フェンメディファム レナシル 30% 20%	北 海 三 共
	HSW-6901 (移 植)	水和剤	同 上	同 上
8) 落 花 生	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバ メイト 15%	ス エ ッ プ 普 及 会 (日産,日農,北興)
	NC-301	水和剤	PCP リニュロン 73% 5%	日 本 カ ー バ イ ト
	C P - 2 3	乳 剤	2-クロル-N-(イソプロキシメチル)-2', 6'-アセトキシリダイド 60%	三 菱 モ ン サ ン ト 化 成
	C-6313	水和剤	N-(4-プロモ-3-クロルフェニル)-N'- メトキシ-N'-メチルウレア 50%	チ バ 製 品 武 田 薬 品
	X-52	水和剤	2,4-ジクロロ-3'-メトキシ-4'-ニトロ ジフェニルエーテル 40%	石 原 産 業
	Z-43	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	同 上
	CH-701	水和剤	ウラシル系化合物	中 外 製 薬
	CH-702	水和剤	ウラシル系化合物	同 上
	S K - 5 1	粒 剤	バーナレート DCIP(殺線虫剤) 0.5% 30%	サ ン ケ イ 化 学
9) 大 豆	B-3015 プロメトリン	乳 剤	R-3015 プロメトリン 7% 1%	ク ミ ア イ 化 学 日 本 化 薬
	NC-301	水和剤	PCP リニュロン 73% 5%	日 本 カ ー バ イ ト

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名及び成分含有率	委 託 者 名
9) 大 豆 (つづき)	アラクロール (CP-50144)	乳 剤	2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(メトキシ メチル)アセトアニリド 43%	三菱モンサント化成
	N P - 1 3	乳 剤	ジフェニルエーテル系 25%	日本カーバイト
	KH - 1 6 6	微粒剤	2,4-ジニトロ-6-ターシャリブチルフェニルメ タンスルフォネート 7%	兼 商
	S L D - 6 9 5	水和剤	Cℓ-IPC リニュロン 17.5% 7.5%	石 原 産 業
	C - 6 3 1 3	水和剤	N-(4-ブromo-3-クロロフェニル)-N'- メトキシ-N'-メチルウレア 50%	チ バ 製 品 武 田 薬 品
	S - 6 1 1 5	乳 剤	2-クロロ-4-シクロプロピルアミノ-6-イソ プロピルアミノ-1,3,5-トリアジン 12.8%	東 陽 通 商
10) 小 豆	B - 3 0 1 5 プロメトリン	乳 剤	B-3015 プロメトリン 7% 1%	クミアイ化学 日 本 化 薬
	KH - 1 6 6	微粒剤	2,4-ジニトロ-6-ターシャリブチルフェニルメ タンスルフォネート 7%	兼 商
	RH - 3 1 5 T	水和剤	RH-315 NIP 15% 30%	三 洋 貿 易
	T O P - 2 5	乳 剤	DNBP NIP 12.5% 12.5%	同 上
	HSW-7001	乳 剤	DNBPA Cℓ-IPC 40% 20%	北 海 三 共
11) 菜 豆	N C - 3 0 1	水和剤	PCP リニュロン 73% 5%	日本カーバイト
	KH - 1 6 6	微粒剤	2,4-ジニトロ-6-ターシャリブチルフェニルメ タンスルフォネート 7%	兼 商
	アラクロール (CP-50144)	乳 剤	2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(メトキシメチル) アセトアニリド 43%	三菱モンサント化成
	RH-315 T	水和剤	RH-315 NIP 15% 30%	三 洋 貿 易
	T O P - 2 5	乳 剤	DNBP NIP 12.5% 12.5%	同 上
	HSW-7001	乳 剤	DNBPA Cℓ-IPC 40% 20%	北 海 三 共
	C - 6 3 1 3	水和剤	N-(4-ブromo-3-クロロフェニル)-N'- メトキシ-N'-メチルウレア 50%	チ バ 製 品 武 田 薬 品
	バーナレート	粒 剤	n-プロピル-N, N-ジプロピルチオカーバマイ ト 5%	チ ラ ム ・ バ ー ナ ム 普 及 会
12) こ ん じ ゃ く	トリフルラリン 2.5	粒 剤	α, α, α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N, N -ジプロピル-P-トリイジン 2.5%	塩 野 義 製 薬
13) さ と う き び	H - 1 3 7	粒 剤	PCP DCMU 20% 1.5%	協 和 醸 酵

B. マルチ除草剤

対 象 作 物	薬 剤 名	剤 型	有効成分名及び成分含有率	委 託 者 名
1) 陸 稲 マ ル チ	B - 3015	乳 剤	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト 50%	ク ミ ア イ 化 学
	T - 173	水和剤	S-メチル-N-(3-メチルフェニル)チオールカーバメイト 40%	石 原 産 業
	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト 15%	ス エ ッ プ 普 及 会 (日産, 日農, 北興)
	サッソーシートTS (T-173)	フィルム	T-173 30g/a	マルチ栽培研究会 [日本化薬, 三菱油化 ミカド化工]
	CP-53619 (ブタクロール)	乳 剤	2-クロロ-2', 6'-ジメチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 48%	三菱モンサント化成
2) とうもろこし マルチ	M C C	水和剤 粒 剤	水和 粒 40% 15%	ス エ ッ プ 普 及 会 (日産, 日農, 北興)
	サッソーシートP (プロメトリン)	フィルム	プロメトリン(2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン) 8g/a	マルチ栽培研究会 [日本化薬, 三菱油化 ミカド化工]
3) 甘 藷 マ ル チ	ク レ ダ ジ ン	水和剤	3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン 50%	三 共
	サッソーシートP (プロメトリン)	フィルム	プロメトリン 8g/a	マルチ栽培研究会 [日本化薬, 三菱油化 ミカド化工]
4) 落花生マルチ	サッソーシートP (プロメトリン) I, II	フィルム	プロメトリン I 6g/a II 8g/a	同 上
	バーナレー ト	粒 剤	n-プロピル-N,N-ジプロピルチオカーバメイト 5%	チ ラ ム ・ バ ー ナ ム 普 及 会
5) 枝 豆 マ ル チ	サッソーシートP (プロメトリン)	フィルム	プロメトリン 8g/a	マルチ栽培研究会 [日本化薬, 三菱油化 ミカド化工]
	M C C	水和剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト 40%	ス エ ッ プ 普 及 会 (日産, 日農, 北興)
6) 菜 豆 マ ル チ	サッソーシートP (プロメトリン)	フィルム	プロメトリン 8g/a	マルチ栽培研究会 [日本化薬, 三菱油化 ミカド化工]
7) さとうきびマルチ	サッソーシートP (プロメトリン)	フィルム	プロメトリン 8g/a	同 上
	サッソーシートAS (アトラジン)	フィルム	アトラジン: (2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン)	同 上
8) 馬 鈴 薯 マ ル チ	サッソーシートP (プロメトリン)	フィルム	プロメトリン 8g/a	マルチ栽培研究会 [日本化薬, 三菱油化 ミカド化工]

＜第3表＞ 昭和45年度畑作関係除草剤実用化判定表

A. 除 草 剤

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
① 陸 稲	DC-55 粒 ブタクロール 乳 NC-301 水和 M C C 粒 DCPA 水和	B-3015・ プロメトリン 乳	Z-43 水和	SD-11831 水和 X-52 水和	X-52 水和 (出芽期)

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
2) 麦 類			NP-13 乳 (春播小麦) C M P T 水和 (春播小麦)		
3) とうもろこし	バーナレート 粒 アラクロール 乳 (CP50144) アイオキシニル 乳	NC-301 水和	CP-23 乳 S-6115 乳 アトラジン 水和 サイプロミッド 乳		
4) 甘 藷	SD-11831 水和 (でん粉原料用) M C C 粒		X-52 水和 (挿苗後) Z-43 水和		KH-166 微粒 SD-11831 水和 (生食用) X-52 水和 (挿苗前)
5) 馬 鈴 薯	M C C 粒 HSW-7001 乳 H-337 水和 NC-301 水和 P C P 水溶 アイオキシニル 乳	バーナレート 粒	アメトリン 乳		
6) て ん 菜	HSW-6901 水和 (直播) HSW-6901 水和 (移植)	レナシル 水和 (直播) レナシル 水和 (移植)	CP-23 乳 (直播) CP-23 乳 (移植)		
7) 落 花 生	M C C 粒 NC-301 水和	CP-23 乳	C-6313 水和 (土壌処理) X-52 水和 (土壌処理) Z-43 水和 CH-701 水和 CH-702 水和	SK-51 粒	C-6313 水和 (茎葉処理) X-52 水和 (茎葉処理)
8) 大 豆	NC-301 水和 KH-166 微粒	アラクロール 乳 (CP-50144) SLD-695 水和	B-3015・ プロメトリン乳 C-6313 水和 S-6115 乳	NP-13 乳	
9) 小 豆	KH-166 微粒		RH-315T 水和 TOP-25 乳 HSW-7001 乳		B-3015・ プロメトリン乳
10) 菜 豆	NC-301 水和 KH-166 微粒	バーナレート 粒	アラクロール 乳 (CP-50144) RH-315T 水和 TOP-25 乳 HSW-7001 乳 C-6313 水和		

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
11) こんにゃく	トリフルラリン2.5粒				

12) さとうきび H-337粒(春植) 有望であるが、徳島県の春植の結果がでてから決定する。

B. マルチ除草剤

区 分	実 用 化	実 ・ 継	継 続	継 ？	中 止
1) 陸稲マルチ	M C C 粒	CP-53619 乳 (ブタクロール)	B-3015 乳 T-173 水和 サッソーシートTS (T-173)		
2) とうもろこしマルチ	サッソーシートP (プロメトリン)		M C C 水和		
3) 甘藷マルチ	クレダジン 水和		サッソーシートP (プロメトリン)		
4) 落花生マルチ	サッソーシートP (プロメトリン)I,II		バーナレート 粒		
5) 枝豆マルチ	M C C 水和		サッソーシートP (プロメトリン)		
6) 菜豆マルチ			サッソーシートP (プロメトリン)		
7) さとうきびマルチ		サッソーシートP (プロメトリン)		サッソーシートAS (アトラジン)	
8) 馬鈴薯マルチ		サッソーシートP (プロメトリン)			

〔作用特性の説明〕

畑 作 一 般

MT-206乳剤, MT-207乳剤, X-52水和剤, Z-43水和剤, SW-7003水和剤, SW-7004水和剤, SW-7005水和剤, H-2901乳剤, H-41L乳剤, B-3356乳剤, バーナレート粒剤

<第4表> 昭和45年度畑作関係除草剤実用化薬剤使用基準

A. 除 草 剤

薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品 g/a)	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使用上の注意
陸 稲	DC-55 乳剤	土 壌 播 種 後	100~150	火山灰土壌	温暖地以西	
	ブタクロール 乳剤	土 壌 播 種 後	10~20	火山灰土壌	温暖地以西	・広葉優占地帯除く ・薬量が多いと発芽障害が見られるので注意

薬 剤 名		処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品 g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
陸 稲	B-3015・ プロメトリン 乳	土 壌	播 種 後	150～200	火山灰土壌	温 暖 地	
	NC-301 水和	土 壌	播 種 後	80～150	洪積土および 火山灰土壌	全 域	・出芽直前はさける
	M C C 粒剤	土 壌	播種直後 ～発芽始	400～500	火山灰土壌	全 域	・土壌水分の多い 時期に均一に散 布 ・雑草発生前に散 布
	DCPA 水和	茎 葉	ヒメシバ 2～3 L	40～60	全 土 壌	全 域	・乳剤に準ずる
と う も ろ こ し	バーナレート 粒剤	土 壌 混 和	播 種 前	300～500	火山灰土壌	暖 地	・土壌が過湿なと きはさける ・散布後直ちに混 和する
	NC-301 水和	土 壌	発 芽 前	80～100	全 土 壌	寒 地・ 寒冷地	
	アラクロール 乳剤	土 壌	播 種 後	20～30cc	洪積火山灰土 沖積壤土・埴土	寒 地・ 寒冷地	
	アイオキシニル 乳剤	茎 葉	生 育 期 (3～4 L)	12～16cc	全 土 壌	温暖地以北	
甘 藷	SD-11831 水和	土 壌	挿 苗 直 後	10～15	砂土を除く 全土壌	温暖地以西	・でん粉原料用に 限る ・広葉には効なし ・水平植は注意す る
	M C C 粒剤	土 壌	挿苗直後 ～雑草発始	400～500	洪積火山灰土 (砂壤土を 除く)	全 地 域	・処理時期を遅れ ないように注意 する
馬 鈴	バーナレート 粒剤	土 壌 混 和	植 付 前	400～500	全 土 壌	寒 冷 地	
	M C C 粒剤	土 壌	植 付 後	400～500	全 土 壌	全 域	・乾燥土壌は注意 する ・耕耘整地はてい ねいにする
	HSW-7001 乳剤	土 壌	萌芽前、雑草 発生始	30	全 土 壌	寒 地	
薯 芋	H-337水和	茎葉兼土壌	萌 芽 直 前	100	全 土 壌	寒 地・ 寒冷地	
	NC-301 水和	茎葉兼土壌	播種後、萌芽前	100	全 土 壌	寒 冷 地	
	P C P 水和	茎 葉	萌 芽 直 前	100～150	全 土 壌	寒 地	
	アイオキシニル 乳剤	茎 葉	萌 芽 直 前	30～45	全 土 壌	寒 地・ 寒冷地北部	cf. 44年度は、 Ⓐ15～30cc/a で「実」になって いる
てん菜	レナシル 水和 (直 播)	土 壌 混 和	播 種 前	12.5～14.5	全 土 壌	寒 地	・混和深2～3cm

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品 g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
て ん 菜	レナシル 水和 (移植)	土 壤 混 和	移 植 前	1 2.5 ~ 1 4.5	全 土 壤	寒 地	・混和深 2 ~ 3 cm
	HSW-6901 (直播) 水和	茎 葉	本 葉 2 葉 期	3 0	全 土 壤	寒 地	
	HSW-6901 (移植) 水和	茎 葉	本 葉 2 葉 期	3 0	全 土 壤	寒 地	
落 花 生	M C C 粒剤	土 壤	播 種 後 ~ 雑草発生始	4 0 0 ~ 5 0 0	洪積火山灰土 (砂壤土を 除く)	温暖地以西	・処理時期が遅れ ると葉害が発生 するおそれがある
	NC-301 水和	土 壤	播 種 後	8 0 ~ 1 0 0	火山灰土壌	温暖地以西	・発芽直前はさける
	CP-23 乳剤	土 壤	播 種 後	8 ~ 1 2	火山灰土壌	温暖地以西	・発芽直前はさける
大 豆	NC-301 水和	土 壤	播 種 後	1 0 0 ~ 1 2 0	火山灰土壌	寒冷地 ~ 温暖地北部 中高冷地	
	アラクロール 乳剤	土 壤	播 種 後	3 0 ~ 4 0	全 土 壤	寒地・寒冷地	
	KH-166 微粒	土 壤	播種直後 ~ 発芽前	3 0 0 ~ 4 0 0	火山灰土壌	寒 地	
	SLD-695 水和	土 壤	発 芽 前	成 分 量 3.5 + 1.5 ~ 4.2 + 1.8	全 土 壤	寒 地	
小 豆	KH-166 微粒	土 壤	播種直後 ~ 発芽前	3 0 0 ~ 4 0 0	火山灰土壌	寒 地	
菜 豆	NC-301 水和	土 壤	発 芽 前	8 0 ~ 1 0 0	全 土 壤	寒 地	
	KH-166 微粒	土 壤	播種直後 ~ 発芽前	3 0 0 ~ 4 0 0	全 土 壤	寒 地	・耕耘整地はてい ねいに ・均一散布
	バーナレート 粒剤	土 壤 混 和	播 種 前	3 0 0	全 土 壤	寒 地	・イネ科雑草優占 地帯(ハコベに 効かず)
こ ん に ゃ く	トリフルリン2.5 粒剤	土 壤	播 種 後	4 0 0 ~ 6 0 0	全 土 壤	温暖地 ~ 寒冷地	・イネ科雑草優占 地帯 ・風によるまきム ラが生じ易いから 注意する

B. マルチ除草剤

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品 g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
陸 稲 マ ル チ	M C C 粒剤	土 壤	マ ル チ 前	3 0 0 ~ 4 0 0	沖積・洪積土 (砂壤土、 砂土を除く)	寒 冷 地 温 暖 地	
	CP-53619 乳剤	土 壤	マ ル チ 前	1 5 ~ 2 0	全 土 壤	寒 冷 地	・イネ科雑草優占 地帯

薬 剤 名		処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品 g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
とうもろこし	M C C 水和	土 壌	マ ル チ 前	1 5 0	洪積火山灰土 (砂壤土、 砂土を除く)	寒 地 温 暖 地	
	サッソーシートP (プロメトリン)	マ ル チ	播 種 前	8 (成分量)	洪積火山灰土	寒 冷 地 温 暖 地	・多雨、土質により 薬害発生
甘藷 マルチ	クレダジン 水和	土 壌	マ ル チ 前	3 0 ～ 4 0	沖積を除く 全土壌	温暖地以西	・後作にイネ科作物 を入れない
落花生 マルチ	サッソーシートP (プロメトリン)	マ ル チ	播 種 前	6(暖地・温暖地) 8(寒冷地)	火山灰土 壌	寒冷地以西	
枝豆 マルチ	M C C 水和	土 壌	マ ル チ 前	2 0 0 ～ 2 5 0	洪積火山灰土 沖積火山灰土 の砂壤土～植 壤土 (ただし、砕 土困難の土 壌及びクラ ストのでき 易い土壌は 除く)	温暖地以西	
さとう きび	サッソーシートP (プロメトリン)	マ ル チ	春植の植付直後 (1～2月)	1 2 (成分量)	全 土 壌	暖 地	
馬鈴薯	サッソーシートP (プロメトリン)	マ ル チ	播 種 前	8 (成分量)	火山灰土 壌	寒冷地北部	

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課

(昭和45年11月1日～昭和45年12月31日)

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤 型	使用対象	登録会社
ホルモン型 除 草 剤	2,4 PA除草剤	金鳥ローン キープ	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 ナトリウム-水化物 2.0%	エアゾル	芝(高麗芝)	大日本 除虫菊
非ホルモン型 除 草 剤	DCMU除草剤	サンケイ DCMU 水和剤 4.0	3-(3,4-ジクロロフェニル) -1,1-ジメチル尿素 40.0%	水和剤	陸稲、麦類、 とうもろこし、 落花生、ば れいしょ、 こんにゃく、 たまねぎ、 桑、茶、果樹	サンケイ化学
混 合 剤	シメトリン・ク レダジン除草剤	クサトリ- 粒剤 2.8	2-メチルチオ-4,6-ビス(エチ ルアミノ)-S-トリアジン 1.5% 3-(2-メチルフェノキシ)ピ リダジン 1.3%	粒 剤	移植 水稻	三 共
		同 上	同 上	同 上	同 上	北海三共
		同 上	同 上	同 上	同 上	九州三共

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤 型	使用対象	登録会社
混 合 剤 (つづき)	PCP・リニ ロン除草剤	ハタロン粒剤A	ペンタクロルフェノールナトリウ ム-水化物 10.0% 3-(3,4-ジクロルフェニル) -1-メトキシ-1-メチル尿素 0.50%	粒 剤	陸 稲 らっかせい こんじゃく	三笠産業

新 登 録 生 育 調 節 剤 一 覧

(昭和45年11月1日～昭和45年12月31日)

商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤 型	薬 効	使用対象	登 録 会 社
テッカパール	3,4-キシリル-N-メチルカーバメート 50.0% α -ナフタリン酢酸ナトリウム 0.70%	粉 剤	摘 果	りんご〔国光〕 (成木)	山 本 農 薬

農 林 統 計 編

1970年世界農林業センサスの結果から、専兼業別農家数の推移をみると、昭和40年2月1日から45年2月1日までの間に、専業農家は31.8%減少して83万戸となりその全家に占める割合はわずか15.6%となっている。ところで、都道府県の経営耕地規模別に専兼業別農家数構成比をみると下表のとおりとなる。

専 兼 業 別 農 家 数 の 構 成 (都府県)

単位：%

経 営 耕 地 規 模	専 業			兼 業					
				第 1 種 兼 業			第 2 種 兼 業		
	昭. 35	40	45	昭. 35	40	45	昭. 35	40	45
総 数	33.7	20.5	14.5	34.1	37.2	34.0	32.3	42.3	51.5
例 外 規 定	27.0	34.2	41.6	8.4	13.7	19.4	64.6	52.1	39.0
0.3 ha 未 満	12.5	8.8	7.8	10.3	5.9	2.9	79.2	85.3	89.3
0.3 ～ 0.5	18.6	10.5	7.8	30.9	19.7	11.3	50.5	69.8	80.9
0.5 ～ 0.7	27.9	14.7	10.0	45.7	39.6	27.0	26.5	45.7	63.0
0.7 ～ 1.0	39.9	21.8	14.0	48.9	55.2	47.4	11.2	23.0	38.6
1.0 ～ 1.5	53.5	31.7	20.9	42.9	60.5	63.7	3.6	7.8	15.4
1.5 ～ 2.0	63.3	40.5	27.8	35.3	56.8	67.2	1.4	2.7	5.0
2.0 ～ 2.5	68.4	45.9	32.1	30.7	52.5	65.2	1.0	1.6	2.7
2.5 ～ 3.0	71.3	50.1	34.8	27.8	48.6	63.1	0.9	1.3	2.1
3.0 ha 以 上	73.0	54.6	39.6	26.0	43.6	58.0	1.0	1.8	2.4
うち 5.0ha 以上	...	...	47.6	...	...	48.2	...	...	4.2

新除草・調節剤

ニトラリン除草剤

(試験名: SD-11831)

(取扱メーカー) シェル化学株式会社

対象作物: かんしょ

性状・作用特性: 本剤は有効成分 4-(メチルスルフォニル)-2,6-ジニトロN,N-ジプロピルアニリン(一般名 ニトラリン) 50.0%を含む淡黄色水和剤である。

本剤は根系接触および吸収毒作用を持つ非選択性除草剤である。既に発生している雑草は、本剤に対して高い抵抗性を示すので、雑草発生前に処理しておく必要がある。

土壤中の移動性は、3 cm 前後(3時間 30 mm 降雨)でPOPより大きく中程度であるが、作物に対する影響はかんしょ挿苗直後土壌全面処理で地上部・地下部とも異常は認められない。

残効性は40~50日程度である。

すでにかんらんにおいても、定植直後土壌全面処理で高い除草効果と作物に対する安全性が確認されている。また、きゅうり、とまと、たまねぎ、いちご、レタスに対する適用拡大試験が行なわれる予定である。

毒性: 人畜および水産動植物に対する毒性は、通常の使用方法では問題はない。(急性経口毒性: マウス $LD_{50} > 10,000 \text{ mg/Kg}$, 魚毒性は、コイト $LD_{50} = 44.7 \text{ ppm}$ 48時間である。

使用方法: 挿苗直後(雑草発生前)に、10アール当たり製品200~300gを土壌全面処理する。

使用上の注意: 覆土深をなるべく深くし、土壌混和はさける。

編集後記

梅花にそそぐ月の光にもようやく春のきざしを感じさせる頃となった。

俳句や詩に表現される月の光は、何となく寒々とした表現に多く用いられている。近頃では、農業経営の近代化に伴ない、月の光を脊に受けて夜遅くまで田畑で働く農民の姿をみる事ができなくなった。科学の進歩により、神秘の世界であった月にも人類が到達し、文学の世界からは月のイメージは追放されざるを得なくなってきた。旧暦の意味も、今後はだんだんうすれてゆくことであろう。

さて、旧暦で雨水というと、新暦では2月19日に相当するが、この頃になるとようやく雪が陽光でとけはじめるようになり、やがて雪だけ

水が広野をうるおすということから、この表現が用いられたものと思われる。

さて、これから、そろそろ農業生産活動がはじまるわけであるが、そろそろその準備をしなければならぬまい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
東話 東京(03)502-4188(代)

昭和46年2月発行

第4巻第11号

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番

除草と稲の倒伏防止が同時にできる

ニ ャ ャ ャ
2,4-D[®] ・ MCP



*安価で、使いやすい除草剤です
*稲の茎をじょうぶにし、根張りをよくする作用を有しますから、稲の倒伏防止にもすばらしい効果です

2,4-D 協議会

日産化学工業株式会社
東京都千代田区神田錦町3の7
石原産業株式会社
大阪市西区江戸堀上通1の11

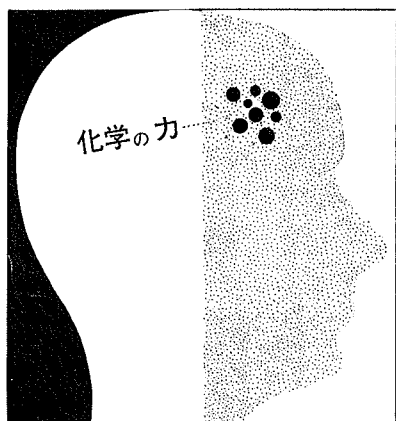
省力農薬を追究する

驚異の水田除草剤《マツバイ・ノビエを一掃》

サターン[®]S 粒剤

機械移植に **サターン[®]M 粒剤**

畑苗代に **サターン[®] 乳剤**



サターンS粒剤は、すぐれた効果で米づくりの省力化をはかり、新しい時間を創造します

ハットとする効果

サターンS粒剤はここが違います

■サターンS粒剤は、マツバイ、ノビエなどにすばらしい殺草力を発揮する新しい型の除草剤です

■サターンS粒剤は、薬害の心配がなく、効力が非常に長く続きます

一回の散布でほとんどの雑草を防除しグリーンと経済的な除草剤です



クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル)



休耕田の 雑草枯らしに!

武田グラモキソン®

休耕田は雑草の発生量が増加し、休耕後の作付が困難になります。
またウンカ・ヨコバイなどの害虫や、いもち病・しらは枯れ病などの病害発生のもととなります。武田のグラモキソンでかならず休耕田の除草をして下さい。

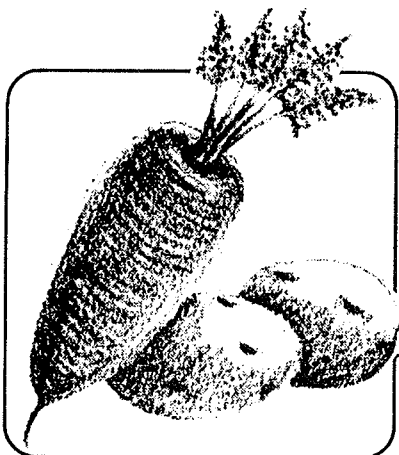
●グラモキソン散布方法

10a 当り100~150 lの水にグラモキソン300~400CCを希釈して展着剤アルソ一ブを加え加圧噴霧機で雑草にむらなく散布して下さい。



武田薬品工業株式会社 東京都中央区日本橋江戸橋2-7

西ドイツ、ヘキストの技術が生きている



人蔘畑、馬鈴薯畑などの畑作除草に

AFALON

アフロン®水和剤

★リニュロン除草剤



ヘキストジャパン株式会社

東京都港区赤坂4の10の33 〒107 TEL (584)0371(大代表)

発売元 日産化学・日本農薬・北興化学・クミアイ化学・サンケイ化学・三共